

平成 25 年第 5 回可児市議会定例会 一般質問通告一覧表 12 月 4 日（ 5 日・ 6 日）

	質問者	質問項目（答弁者）
1	澤野 伸 (誠颯会)	<p><u>1.循環型社会を形成するため資源有効活用施策など本市の対応は（市民部長）</u> 2013年4月1日に、小型家電リサイクル法が施行された。使用済みの小型電子機器などに使われている金属など有用な資源をリサイクルするため本市の対応と取り組みを問う。</p> <p><u>2.本市の法定外公共物の管理と今後の取り組みは（建設部長）</u> 道路法・河川法・下水道法などが適用または準用されない里道（りどう）・水路などの法定外公共物の管理と利活用に向けた取り組みや処分を含めた今後の対応を問う。</p>
2	酒井 正司 (誠颯会)	<p><u>1.ウィンドウズXPサポート期間終了の対応について（総務部長・教育委員会事務局長）</u> 米マイクロソフト社のパソコン用基本ソフト「ウィンドウズXP」の安全上の問題に対応する、製品サポート期間が来年4月9日で終了します。サポート期間終了に備えた、準備等について伺います。</p> <p><u>2.名城大学都市情報学部の撤退について（企画経済部長）</u> 名城大学都市情報学部が平成29年3月に可児市から撤退することが決定しました。それに伴う影響や跡地利用について伺います。</p>
3	天羽 良明 (誠颯会)	<p><u>1.「歩こう可児302運動」の効果と今後は？（健康福祉部参事・企画経済部長）</u> 2011年10月からスタートした『歩こう可児302運動』の現状と更に地域で広げるための今後の計画は？</p>
4	小川 富貴	<p><u>1.リニア新幹線に関わる環境影響（企画経済部長）</u> 中央新幹線の環境影響評価準備書が9月に公表されて以来、経済効果を期待する声大きい反面、リニア通過地域では生活環境への不安が起きている。</p> <p><u>2.電源立地交付金の捉え方（企画経済部長）</u> 小泉元首相の即脱原発発言の根底である「日本における最終処分場問題」が議論されることなく、政治決着による処分場選定という政府の動きが始まっているが、市の捉え方を問う。</p>
5	伊藤 英生 (民主ネット 可児)	<p><u>1.オープンデータ化への取り組みは（総務部長）</u> 行政が保有するデータを公開し、誰もがウェブサービスやアプリという形で利用できるようにするオープンデータの動きが広がっている。民間等による新しい視点でのデータ活用が期待されるが、本市の取り組みを問う。</p>

	質問者	質問項目（答弁者）
6	伊藤 健二 (日本共産党 可児市議団)	<p><u>1.市は介護制度改悪にどう立ち向うか（健康福祉部参事）</u> 国は介護保険費用を抑制するため、大幅な利用制限を狙っている。要支援など軽度の利用者を保険給付から外す改悪を計画し、介護給付が制限される見込みだ。市の介護給付を考察し、今後の介護予防を問う。</p> <p><u>2.竜巻、突風への備えは大丈夫か。（総務部長・健康福祉部長）</u> 台風18号は10個の竜巻を発生させた。葬儀に参列し、突風で死亡事故が起きる時代だ。温暖化等により、異常気象が頻発し甚大な被害が発生する。改訂した地域防災計画の充実を求める。</p>
7	山口 正博 (誠颯会)	<p><u>1.可児市の「子ども会」の必要性は？（市民部長）</u> 昨今の子どもを取り巻く環境は、急速に変化し、電子機器によるコミュニケーション不足からいじめが発生することも少なくなき、子どもたちが主体となった助け合う活動が必要と考え、子ども会の必要性を問う</p>
8	伊藤 壽 (誠颯会)	<p><u>1.教育方針について（教育長）</u> 今年10月より前教育長の辞任に伴い新たに教育長が選任された。そこで、教育長の教育方針と諸課題について問う。</p>
9	富田 牧子 (日本共産党 可児市議団)	<p><u>1.障がい者総合支援法に関連して（健康福祉部長）</u> 今年4月から始まった「障害者総合支援法」では、これまでの障害程度区分が障害支援区分に変更され、ケアホームがグループホームに一元化されるなどの変更がある。総合支援法で、市の障害者福祉は前進するのか。</p> <p><u>2.子ども・子育て支援新制度について（健康福祉部長）</u> 昨年8月に成立した「子ども・子育て支援」関連三法による「新制度」を、早ければ再来年2015年4月に始めようとしている。しかし、枠組みは決まっているが詳細はまだという状況だ。市の準備状況について聞く。</p> <p><u>3.可児駅前公共用地に関連して（企画経済部長）</u> 可児駅前に子育て機能を集積して、賑わいを創出するという案が出されたが、「子ども・子育て支援事業計画」も定まっていない中で、拙速すぎないか。</p>
10	板津 博之 (誠颯会)	<p><u>1.命を守るための防災・減災対策を（総務部長・健康福祉部長・建設部長）</u> 南海トラフ巨大地震の発生が予測されており、平時にこそ市民の命を守るための防災・減災対策が必要であると考え。可児市地域防災計画の大幅な見直しを図られた今、改めて本市の防災・減災対策について問う。</p>

	質問者	質問項目（答弁者）
11	山田 喜弘 (可児市議会 公明党)	<p><u>1.消防団員の処遇改善について（総務部長）</u> 本市の消防団員への年額報酬、出勤手当は普通交付税の交付税単価より低い。消防団員への処遇改善のため、報酬を来年度より引き上げるべきである。本市の見解を問う。</p> <p><u>2.本市の道路面下の空洞調査について見解を問う。（建設部長）</u> 本市でも社会インフラである道路の老朽化が進んでいる。市民の安全を守る道路面下の空洞調査が必要である。本市の見解を問う。</p>
12	中村 悟 (新当クラブ)	<p><u>1.可児市運動公園スタジアムの使用（予定）状況と今後の運営について問う（市民部長）</u> 4月オープンのスタジアムは多額の資金が投入され県下でも一番のグラウンドでありオープニングイベントを含め市民は完成を楽しみに待っている。活発な使用及びPRに具体的にはどのような方針で活動をされているのか</p>
13	野呂 和久 (可児市議会 公明党)	<p><u>1.子宮頸がん予防接種を始め予防接種事業について（健康福祉部参事）</u> 未然防止としてのワクチン接種の定期化、公費助成による健康促進策が行われている。子宮頸がん予防接種の副反応事例が発生し、ワクチン接種の勧奨が中止されている。本市の今後の子宮頸がん予防について問う。</p>
14	山根 一男 (民主ネット 可児)	<p><u>1.学校給食への異物混入問題（教育委員会事務局長）</u> このたびの学校給食への異物混入事件は全国的にも報道され、その対応について多くの意見が寄せられた。敢然とした再発防止への取り組みは当然として、子どもたちへの影響を考慮すべきではないか。</p> <p><u>2.可児駅前拠点施設をどうするのか（企画経済部長）</u> 可児駅前の拠点施設について、市長は子ども・子育て支援を中心とした機能を集中させる方針を明示した。可児市の政策のシンボルとしての位置づけは理解するが全市的な理解は得られるのか。</p>

この一覧表は、議員から提出された発言通告書の件名・要旨欄からそのまま掲載したものです。